

第 22 回アンケート結果 (抜粋)

1. 一般講演 1 : 「予習復習環境の改善による疑問解消型授業支援システムの開発」

1. 教材へメモをアノテーションできるのが使えると思う。講義時間が短くなる傾向があったのは良いと思います。
2. ①教育効果向上のため、たいへん有意義な研究と思います。今後は母数の拡大 (内容と対象数) と成果の確認、およびそれに伴うシステムのブラッシュアップを図っていかれることを期待します。②CFIVE のネーミングはどこから来たのでしょうか？
→②ご質問ありがとうございます。CFIVE は次の略称です。Common Factory for Inspiration and Value in Education
3. ①創造性をどのように評価するのでしょうか？②リアルな対応はできないのでしょうか？③コピー&ペーストを自動化したものではないのでしょうか？ (いいかえると、学生が講義に出てこなくてもよくなり、良くない効果があるのではないかと)。
→①この研究で創造性を評価することは考えておりませんでした。演習時間は長くなったので、結果的には創造性を鍛える時間が増えたと考えます。
②講義外では直接学生を指導することはできません。講義中は解説の途中で出た質問に対して回答することはありました。
③学生の間で、質問を共有することは、他の学生のわかっていなかったことの発見につながる点で、有益なものであると考えます。一方で、ノートシステムに依存し講義に出席しなくなる学生が発生する可能性があることに関しては、対応策の一つとして、質問だけを他の学生に公開し、理解のために取ったメモ等は共有しないようにすることが考えられると思います。ご指摘ありがとうございます。
4. 教育価値の転換 (“講義” が Web で公表されるなど、価値が低下し、より相互のやりとりで本質的価値をおく) という潮流にのってたいへん興味深いお話でした。コメント (自然文) →タグ→オントロジという発展をもって、講義全体を講義単位ではなく、その構成要素単位でネットワーク化すると、学生 1 人 1 人のビジョンに合わせて講義の受講計画の作成支援などにつながるのではないかと感じました。
→講義資料を構造化(構成要素単位でネットワーク化)する研究は、すでに存在されているので、学生のコメントを構造化して、有効活用したいと考えました。具体的には、「このラプラス変換がわからない」という質問があった場合、形態素解析を行い、質問の意味を解釈することで、学生に機械的に指導ができる機能に関して検討を行います。また、学生の質問に対して“ラプラス変換”等をアノテーションとして加えることも検討します。ご意見、ありがとうございます。
5. Blended Learning、教育の本質が変わるような取り組みで興味深かった。ご提案の手法が最終的に狙っている将来の教育の姿 (教育のパーソナライゼーション) をお聞

きしたかったです。

→ご意見ありがとうございます。将来の姿として、2点紹介させていただきます。

①多くの学生は、授業でとったノートを卒業後見返していないと思われます。しかしながら、時には大学時代のノートを見返す必要のある場面が発生することがあることでしょう。将来的には、集めた学生のメモと教材を保存し、いつでも参照可能にすることを検討しています。さらに、一つの科目にとどまらず、大学として教材と学生のノートの蓄積、学生の閲覧環境を整備する必要があると考えております。また、現在の大学の出す成績に関しても、何かこれに基づいたものにできないか検討しております。

②近年普及を始めた遠隔講義において、講師に学生の声が届きにくいという問題があります、学生の疑問を解消できるという対面型講義の良さを遠隔講義に組み込むために、本システムを応用することも有用であると考えます。

6. 予習段階のメモと授業におけるメモとの種類分け、それぞれの場面における疑問からくるメモ、理解を助けるメモ等の種類分けはなされているのでしょうか？

→ご質問ありがとうございます。ノートのメモに関しては、質問と参考になったメモを分けて抽出、メタデータを付与していました。そのため、学生には、「疑問：水色」、「参考になったこと：ピンク」の様に、異なる色のマーカーで質問の周りを囲むように指示しておりました。

一方で、予習・授業・復習の区別があれば、学習過程の理解度の分析に役に立つと考えられるので、今後は改良したいと考えております。

7. 研究目的とは異なりますが、学生が学習に興味を持つような方向にテーマが向くと嬉しいです（マーケティング、サービス料金など）。

→ご意見ありがとうございます。今回の授業でも、内容や課題が他の授業に比べて重かったためか、途中で履修を止めてしまう学生が多かったのは事実ですので、何か対策を考えていきたいと考えています。